

国際学生対象 キャリア支援活動報告

キャリアサポート室

坂井 伸彰

国際教育交流センターアドバイジング部門

川平 英里・安部 伸子

1. はじめに

留学生をはじめ国際学生を対象としたキャリア支援活動について、「個別相談」、「教育プログラム」、「社会連携」、「学内連携」に分けて紹介し、最後に次年度の実践に対する課題や展望を「まとめ」として報告する。

2. 個別相談

平成30年度の個別相談件数は計490件、来室学生数は計159名（平成29年度実績：相談件数464件、来室学生数143名）であった。本件数は、窓口、メール、電話での対応は含めず、事前予約に基づいて対応した相談対応であり、1回あたり1時間程度、対面による面談（キャリアカウンセリング）を行なっている。相談内容は、主に「書類（エントリーシートや履歴書等）確認」、「面接試験に関する相談」等、日本での就職活動で必要となる内容が中心である（参照：表1）。加えて、就職活動の早期化に伴い、修士1年や学部3年の学生から、日本企業へのインターンシップの参加のために必要となる書類や面接の対策のため、相談に訪れ

る学生も多い。また、昨年度に引き続き、入学オリエンテーションに出席する全新入外国人留学生に対し、キャリア形成に関する相談希望の有無を尋ね、希望者（計20名）との個別相談に応じた。

3. 教育プログラム

表2は、2018年度に実施した国際学生を対象としたキャリア支援に関する取組みである。その中でも特筆すべき内容について、以下のとおり紹介する。

〈留学生のための就職・キャリア支援プログラム〉

翌年度に日本での就職活動を控えた学部3年生及び修士1年生を対象としたワークショップを、10月から1月にかけて全11回実施し、延べ229名が参加した。初回のオリエンテーションで日本の雇用習慣や就職活動の流れを解説し、第2回目以降は、企業分析の手法や自己理解の促進を促すワークショップを実施した。本年度の初めての取組みとしては、毎回の講座に修士2年生で日本企業への就職を決めた留学生の「先輩」2名をティーチングアシスタントとして、講座担当者（外部講師および筆者たち）と連携し、受講者と指導者側

表1. 平成30年度 国際学生 個別相談内訳

	相談内容	件数
1位	書類（ES、履歴書等）添削	195
2位	面接対策	146
3位	今後の就活の進め方（就活開始後）	71
4位	進路相談（卒業後のキャリア全般に関する相談。主に就職活動を実施する前の学部3年生以下及び修士1年生が対象。）	37
5位	内定報告	10
6位	インターンシップ相談	16
7位	内定辞退（オワハラ相談含む）	7
8位	その他	5
9位	内定後の懸念事項（住まい・ビザ・内定先との連絡等）	3
	計	490

表2. 2018年度 キャリアサポート室主催 国際学生対象教育プログラム一覧

事業名	実施日	項目	内容	人数
留学生のための 就職活動・キャリア支援コース 2018年10月～2019年1月 毎週木曜日(計11回) 延べ 229名	2018年10月25日(木)	オリエンテーション	就活の進め方・スケジュール・情報共有	22名
	2018年11月1日(木)	面接対策	集団(グループ)面接及び個別面接への対策を知る	20名
	2018年11月8日(木)	企業分析(1)	企業・業界分析のアプローチを学ぶ(1)	27名
	2018年11月15日(木)	内定者座談会	自分の現状を把握する,先輩の経験を教えてもらう	21名
	2018年11月22日(木)	企業分析(2)	企業・業界分析のアプローチを学ぶ(2)	20名
	2018年11月29日(木)	自己分析(1)	何のために「自己分析」をするのか,理解する	21名
	2018年12月9日(木)	自己分析(2)	今までの自分を具体的に振り返る	25名
	2018年12月13日(木)	自己分析(3)	卒業後にどこで何をしたいのかを考える	20名
	2018年12月20日(木)	就活の軸	卒業後の進路に関する「価値観」を掘り下げる	19名
	2019年1月10日(木)	面接対策	集団(グループ)面接及び個別面接への対策を知る	21名
	2019年1月17日(木)	何でも相談会	今までの講座で分からなかったことを,みんなで話し合う	13名
留学生のための仕事理解講座	2019年2月12日(火), 14日(木),15日(金)	留学生のための 仕事業界理解講座	6社の企業の仕事を理解し,日本で働くことへの 理解を深める	24名
マナー講座	2019年2月15日(金)	日本型ビジネス コミュニケーションの 特徴について	日本の職場環境特有のルールやビジネスマナーを 学ぶ	15名
企業交流会	2019年1月24日(木)	留学生×中部経済同友会 意見交換&懇談会	同友会加盟企業関係者と留学生が交流を図り, 日本での就職や企業文化に対する理解を深める	49名
ジョブフェア	2019年2月18日(月), 19日(火)	外国人留学生のための ジョブフェア	留学生積極採用企業(44社)との交流を深める	78名
就職体験プログラム (中部経済連合会との課題解決 ワークショップ)	2018年10月23日(火)	中部国際空港×留学生 ワークショップ	外国人社員との交流やテーマに沿ったディスカッ ション,課題解決のための企画・発表を通して,自 身のキャリア形成や今後の就職活動に役立てる	10名
	2018年10月30日(火)			9名
	2018年11月16日(火)	YAMAHA 発動機×留学生 ワークショップ		9名
	2018年10月11日(木)	JAC リクルートメント×留学 生ワークショップ	日本企業が留学生に求められていることを学び, ディスカッションを行う	20名
インターンシッププログラム	2018年5月11日(木)	外国人留学生 インターンシップ 説明会	愛知県政策企画局国際化にお越しによる,開催概 要・応募方法説明・前回参加者報告・企業担当者 による企業プレゼンテーション	50名
	2018年11月9日(金)	春季外国人留学生 インターンシップ説明会	名古屋外国人雇用サービスセンターによる,開催 概要・応募方法説明・前回参加者報告	27名
	2018年11月20日(火), 27日(火),12月4日 (火),11日(火),18日 (火)	豊島×名古屋大学 学内インターンシップ	繊維産業の抱える課題の探究を通し,自身のキャ リア形成や今後の日本での就職活動に役立てる	25名
就活ランチ交流会	2018年4月27日(金), 5月11日(金),25日(金), 6月8日(金),29日(金)	留学生の就活相談会	学部4年生・M2を対象とした,就活に関する相 談ランチミーティング	15名
キャリアラボ	2018年11月15日(木), 22日(木),27日(火), 12月5日(水)	先輩留学生と 後輩留学生との交流会	内定を得た留学生と日本での就活を考えている留 学生とのランチミーティング	28名
卒業生・内定者・就職希望者交 流会	2019年2月22日(金)	卒業生・内定者・留学生 交流会	日本で就職して5年から10年の職務経験を持つ留 学生とのパネルディスカッションと自己分析ワー クを通して,10年後の自分を思い描く	20名
社労士会による講座・相談会	2018年7月30日(月)	知っておきたい 日本で働くための 基礎知識講座	愛知県社会保険労務士会を講師に招き,日本での ワークルールについて,基礎知識を学べる講座	25名
	2018年10月18日(木)			19名
	2019年2月19日(火)			5名

との繋ぎ役としての協力を得ながら、本講座を実践した。

この一連の講座が完結した翌週に、今年度も中部経済同友会からの協力を得て、外国人留学生と日本企業との交流を行う機会を設定した。外国籍社員（元外国人留学生）4名を招いたパネルディスカッションを行い、企業26社55名と学生15カ国55名（総勢110名）が10名前後のグループに分かれ、「日本で働くとは？」をテーマに討議を行うワークショップを行ない、マスコミに大々的に取り上げられた（参照：2019年2月7日中日新聞朝刊）。



写真1：「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」の様子

〈留学生のための仕事理解講座〉

本講座は、留学生を積極的に採用する企業（計6社）の人事担当者より協力を得て、採用活動とは切り離し、「仕事」や「働くこと」について、留学生が理解するための講座を合計3回実施した（第1回：2019年2月12日実施／協力企業：中部国際空港株式会社，株式会社ジェイアール東海高島屋，第2回：2019年2月14日実施／協力企業：サンスター株式会社，日立造船株式会社，第3回：2019年2月15日実施／協力企業：株式会社 One Visa，オリックス株式会社）。時代の変遷を踏まえて業容を変えてきた各社の成り立ちや，求められる資質や働き方などを踏まえ，日本での就職希望の有無に関わらず，「仕事」への理解を通じ，卒業後の進路選択を考える機会として実施した。



写真2：「留学生のための仕事理解講座」の様子

〈中部経済連合会との企業協働ワークショップ（就職体験プログラム）〉

中部経済連合会からの協力を得て，加盟企業3社（JACリクルートメント，中部国際空港株式会社，ヤマハ発動機株式会社）と連携し，留学生を主な対象としたワークショップを実施した。日本の雇用慣習をテーマとしたディスカッション（JACリクルートメント，ヤマハ発動機株式会社）や，ビジネスプランの提案（中部国際空港株式会社）など，留学生だからこそ必要とされる視点や考え方を協力企業の従業員と協議し，その内容について共有した。



写真3：「中部経済連合会との企業協働ワークショップ」の様子

〈留学生のための Job Fair〉

外国人留学生を積極的に採用している国内企業からの問い合わせが急増したことから，今年度の Job Fair は参加企業数を大幅に増やし，44社の企業からの協力を得て，二日間にわたり（2019年2月18日および19日）実施した。就職活動広報解禁日前での実施のため，企業側には学生には個人情報の収集を行わないよう要請

し、学生にはスーツ着用を不要として参加を呼び掛けた。また、本行事の開催に先立ち、実施日前日に「Job Fair・事前講座」を実施し、Job Fair 当日に各企業から効率良く情報を収集するためのレクチャーを行った。



写真4：「留学生のための Job Fair」の様子

〈キャリアラボ&卒業生・内定者・就職希望者留学生交流会〉

国内企業への就職を決めた留学生と日本での就職活動を考える低学年の留学生とが交流できるランチミーティング（「キャリアラボ」）を、就職活動が本格化する11月以降に定期的に（計5回）実施した。また、日本に就職して5年から10年程度経過した元留学生の先輩の話を伺うパネルディスカッションや自己理解を促進する進路探求に関するワークショップを2月に実施した。留学生同士、あるいは元留学生との交流の機会を意識的に増やし、留学生が日本での就職を含め、卒業後の進路について身近な先輩の話を聞きながら、探求できるようにした。



写真5：「卒業生・内定者・就職希望者留学生交流会」の様子

〈正課授業「Introduction to Career Development Theory」〉

G30学生対象文系教養科目として後期に開講している「Introduction to Career Development Theory」（2単位、使用言語：英語）を、工学部西山講師と共に担当した。履修者10名に対し、日本を含めた各国の雇用文化、各種キャリア理論に加え、問題解決の方法論に関する講義を行った。

4. 社会連携（企業対応）

留学生の採用に関心を示す企業や公共団体への訪問および本学への来訪対応を、計64社・団体に対して行なった。2018年度より、企業の求人窓口をキャリアサポート室が国内学生案件を含め担当することになり、企業に対する採用活動におけるワンストップサービスを本学として提供できる体制が構築できた。

5. 学内連携

2018年度より新設されたキャリアサポート室に、これまで国際教育交流センターアドバイジング部門キャリア支援室が行っていた国際学生に対する就職キャリア支援活動に関する一連の業務が移管された。2018年度は、国際学生が混乱しないよう、国際教育交流センターアドバイジング部門より協力を得て同部門内に個別相談窓口機能を残した。2019年度以降は、新設予定の学生支援センター内で、国際学生や国内学生に限らず、本学の学生が就職や進路に関する支援を必要な時に受けられる組織に再編されることが期待されている。

6. まとめ

本稿で取り上げた多くの実践は、本学が基幹校として採択された2017年6月に文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」に基づいたものである。同プログラムも、連携大学が当初の4大学（岐阜大学、名古屋工業大学、名城大学、および本学）に加え、南山大学や愛知県立大学が加わり、域内での連携がさらに進んでいる。国際学生全員が日本（企業）での就職を希望している訳ではないが、日本での就職を一つの選択肢として具体的に提示し、国際学生が卒業後の進路を探求し易い環境を今後も学内外で連携しながら提供していきたい。